

フローティングフレームスタジオ

自主設計施工による既存の躯体や部材をいかした多目的スペースの提案

中井研究室 丹羽 貴行

研究概要: 近年、既存建物や建材などのストック活用に関心が高まっている。しかし、現在一般化している解体-設計-施工を分業したプロセスでは、既存建物や建材の価値や可能性を十分に引き出すことが難しいと感じる。解体から施工までを同一主体が行うことで、解体時に現れた既存の躯体や部材に新たな価値を発見し、それらを踏まえた再構成を行うことが、今後より一層増えていく改修プロジェクトのデザインの可能性を探るうえで重要といえる。本計画では、既存建物の自主設計施工を通して、既存の躯体や部材に着目し、それらをいかす提案を行った。

研究目的: 計画建物は、富山県魚津市中央通りの西端に位置し、1階店舗スペースを休憩所かつギャラリーやシアターなどの多目的に対応できる空間を設えることで、まちにとって一つの拠り所となる場として計画する。解体によって露わになった架構と部材に着目し、それらを減らしたり組み替えることで新たな意味へと転換された空間をつくり出す。



改修後写真 地上階から中2階までを見る



改修後写真 地上階 入り口から見る



改修後写真 中2階 フローティングフレームを見る



改修後写真 外観 北側立面

感想: 実際にある空間を解体から設計、施工まですることができ、とても嬉しく思っています。解体作業を行っていると呼びかけていた通りにはいかず、その都度設計が変わるため大変でしたが、そうしたライブ感ある行為が自主設計施工の最大の魅力であると感じています。